

社会福祉法人  
小笠原村社会福祉協議会

◇昭和51年7月15日 第1号発行◇

**No. 168**

**がじゅまる**

〒100-2101小笠原村父島字奥村  
小笠原村地域福祉センター内  
TEL 04998-2-2486 FAX 04998-2-3400  
E-mail: chichijima@ogasawara-shakyo.jp  
〒100-2211小笠原村母島字元地  
母島村民会館内 母島事務局  
TEL&FAX 04998-3-2188  
E-mail: hahajima@ogasawara-shakyo.jp  
HP <http://www.ogasawara-shakyo.jp>

◇ 社協は、みなさまの会費・ご寄付・村の補助金・委託金などで運営されています ◇

## 令和5年 年頭にあたって

会長 菊池 聡彦

新年あけましておめでとうございます。皆様が健やかに新しい年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

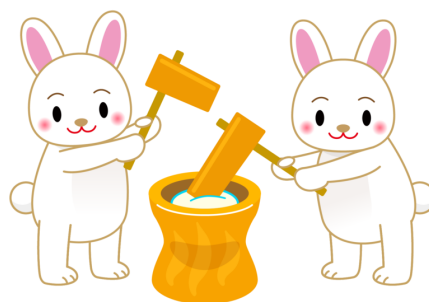
昨年も全国での新型コロナウイルスの流行が収まらず、島内においても多くの発生がみられました。それにより各種イベント・行事等が中止となり、施設利用なども制限され、村民の皆様にはご不便をおかけいたしました。

私達の生活環境は、少子高齢化社会を迎えて、大きく変化してまいりました。私自身も後期高齢者となり、国の制度の大幅な見直しにより生活にも大きな変化がもたらされるものと考えております。

この様な中で、社会福祉協議会は皆様方の福祉生活向上の中核として、

国・村ともどもと手を取り合いながらニーズに応じていくことが使命であると捉えております。地域の皆様がより安心して生活していける様、職員一丸となって取り組んでまいりますので、様々な問題をご相談下さい。そして、村民の皆様のご理解、ご協力をいただき、福祉活動を推進させてまいりたいと思っております。

最後に、皆様方のご健勝を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



## 新入職員のごあいさつ



神奈川県鎌倉市からやって参りました、土 佳孝（つち よしたか）と申します。

小笠原へは幼い頃から母に連れられ、40回以上訪れたことがきっかけで、小笠原の自然に興味を持ちました。中高ではヨット部に所属し、大学では海洋生物学を学び、学内水族館（北里アクアリウムラボ）の運営に携わりました。卒業後、4年間は環境コンサルタントとして海域魚類を専門に種同定、飼育実験等を行っていました。ここまで海や自然を好きになれたのは、幼少期から島民の方々に親切にしてくださいましたからだと確信しております。

そして2022年10月より、社協の職員として憧れの地で生活できていること大変感謝しております。これからは一島民として皆様の生活に役立てるよう頑張りますので、今後ともよろしく願いいたします。



12月より職員になりました永井麻美（ながい あさみ）です。

大学を卒業してから6年間、保育園で保育士として働いていました。今までの生活を何か変えたいと思ったタイミングでご縁があり、小笠原村社会福祉協議会で働くことになりました。

“何でもとりあえずやってみる”をモットーに、ダンス・ギター・登山・ネイルアート…と今まで色々なことに挑戦してきました。この父島でも新しいことにどんどん挑戦したいと思っています！

今までの経験を活かしながら、これからは島民の一員として皆様のお役に立てればいいなと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## 令和5年 職員体制

局長 斎藤 実  
 次長 川本 真裕  
 主査 松林 久美子  
 主任 橋本 翔太（10/1付昇格）  
 主事 佐々木 里美  
 主事 土 佳孝（10/17付採用）  
 主事 永井麻美（12/1付採用）  
 主事 福本 ひろみ（育休中）

### ちびっこクラブ

主査 上瀧 有一  
 主事 菊池 徳乃

### 母島事務局

主任 飯酒盃 琢一  
 主事 杉村 由紀



\*松林寛典は、6月30日付退職いたしました。

## お心をお寄せいただいた方々 【令和4年11～12月】（敬称略・順不同）

故南ジョージ様の三回忌に際し 地域福祉のために

南 亮子 100,000円

社協のために

匿名 100,000円



◆社協への寄付は税制上の優遇措置が受けられます◆